

2018年12月 発行 第27巻

# 運動学習研究会報告集

第27回  
運動学習研究会 編

Annual Report of the Japanese Motor Learning Seminar  
Vol. 27(Nov. 2018)

JMLS

## 目次

フリースローにおける各個人に最適ナリリースの推定 中野信泰（東京大学大学院）	1
時間間隔の不変性は知覚時間を延長させる：心理物理学的研究 金長幸希（静岡大学）	8
視覚と運動の協調ダイナミクス 横山 梓（東京大学大学院）	11
多観察効果による時間知覚の精度向上における予測と事後測の相互作用 吉岡 大貴（静岡大学大学院）	16
注意の焦点づけが遠投の学習に与える影響 大木雄太（筑波大学大学院）・國部雅大（筑波大学）	19
対人間競争課題における攻守方略と成否決定要因 筒井和詩（東京大学大学院）	25
主成分分析を用いたポイントレース競技中に現れる選手位置パターンの分析 奥村文浩（名古屋大学大学院）	32
私が愛する一本の数式 加納剛史（東北大学電気通信研究所）	36
テンポ加速現象とネットワーク構造 紅林 亘（滋賀大学）	39
野球型競技における間合いに関する研究 高御堂良太（名古屋大学大学院）	41
ボードスポーツからみた学習ダイナミクスの機序の解明 鈴木啓央（龍谷大学）	46
仕事率で繋がる自己と他者の運動情報 山田憲政（中京大学スポーツ科学部）・若月翼（中京大学大学院）	50
錯覚現象からみる“道具”の知覚 宮崎 真（静岡大学学術院情報学領域） 宮城拓弥・上田誠也（静岡大学大学院総合科学技術研究科情報学専攻）	59

**“Great minds think alike” in a hockey team**

山本裕二 (名古屋大学)

**61**

---